



GMOインターネット

(インターネット関連事業)

年中無休・終日夕ダの社食

1995年創業。インターネットのインフラ、広告などを幅広く手がける。グループ全体で従業員数約4900人。連結売上高約1263億円(15年度)。

IT大手のGMOインターネット(東京都渋谷区)の「社員食堂」は24時間365日営業、しかも完全無料! なんとありがたい会社だろうか。

一時業績が落ち込んだゼロ年代からV字回復を果たした2010年。従業員への利益還元を考えた熊谷正寿代表(53)がアンケートをとると、最も要望が多かったのが社員食堂、続いて社内託児所の設置だった。

作る以上は利用されなければ意味がない。社員から公募された8人のプロジェクトメンバーが195項目もの要望をまとめあげた。オープンは翌11年で「ビュッフェ形式のランチ」「来客も使用可能」「エスプレッソマシン設

置」「金曜限定でバー実施」など、その95%が実現した。24時間営業はコーンセンターや海外対応で深夜帯の勤務もあるため、おにぎりやサンドイッチが終日利用できる。それにしても「無料」とは、そこまでやりますか。

「フェイスブック社やグーグル社など海外の企業がお手本。人材獲得のためには同じレベルで競争したい。会社が成長し続ける限りは無料です」と広報・IR部アシスタントマネージャーの石井晴美さん(37)。ランチは赤魚の煮つけ、鶏肉とホウレン草のゴマあえなどヘルシーなメニューで毎日主菜3品と副菜2品。デザートやジュースもある。金曜のバータイムにはワインや

カクテルなどアルコールも無料だ。正確には「社員食堂」ではなく「シナジーカフェGMOYours」というらしい。「食事はコミュニケーション活性化の重要なツール。社外の方も含めた、人と人の交流のための多目的スペースと位置づけています」

やはり11年から始まった社内託児所は、ゼロ歳児から15人を預かる。要望外だが熊谷代表のアイデアで導入されたのが昼寝スペース。ベッド3台から始まって、今では会議室を昼休みだけ転用しさらに25台を確保している。進んだ福利厚生施設に他業種の総務担当者も見学も多いというが、これならすぐにもマネできそうだ。(樋口大二)

羊④のへえにのしたよ



社員の
「おしゃべり」



グループ総務部アシスタント
マネージャー

中村 文哉さん(40)

朝食はほぼ毎日、会社でコーヒーとサンドイッチです。経済的にも助

かるし、早く出社して食べて仕事という生活リズムが完全にできてますね。ランチは社外のお客様とご一緒する場面も多いのですが、みなさん素晴らしいとほめてくださいます。